

効果確認表【新型コロナウイルス感染症流行期】

【小児・乳児】

氏名	番号	得点	/100点	
人工呼吸について	小児・乳児に対しては、講習を受けており、人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、胸骨圧迫に人工呼吸を組み合わせる。感染の危険などを考えて人工呼吸を行うことにためらいがある場合には、胸骨圧迫だけを続ける。 【人工呼吸を実施せずの場合には、人工呼吸なしの評価欄にて評価を実施】		人工呼吸あり	人工呼吸なし
区分	項目	得点	適	否
安全確認	周囲の安全を確認したか。	2	0	2
心肺蘇生	反応の確認をして周囲の人に助けを求めたか。「誰か来てください」 【確認や観察の際に、傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする】	3	0	4
	☆119番通報とAEDの依頼をしたか。(又は誰もいない場合、自分で119番通報したか)	5	0	5
	胸や腹部を見て、普段どおりの呼吸の有無を判断したか。 【確認や観察の際に、傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする】	3	0	4
	呼吸判断を10秒以内で行ったか。	3	0	3
	エアロゾルの飛散を防ぐため、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオル(講習の場合はガーゼ)などがあれば鼻と口にそれをかぶせるようにする。マスクや衣服などでも代用可。	4	0	4
	☆胸骨の下半分(胸の真ん中)を圧迫したか。 ※乳児(両乳頭を結ぶ線の少し足側を2本指で圧迫)	4	0	5
	☆毎分100から120回のテンポで圧迫したか。(30回を15~18秒の間で)	4	0	5
	☆小児・乳児の場合なので、胸の厚さの約1/3沈み込むように深く圧迫したか。	4	0	5
	☆圧迫と圧迫の間は胸が元の高さに戻るまで解除したか。	4	0	5
	気道を確保したか。(頭部後屈顎先挙上法)	3	0	
	人工呼吸1回に約1秒かけて、2回行ったか。 ほ乳児(人工呼吸の準備ができ次第、人工呼吸を開始する。)	3	0	
	心肺蘇生を30:2のサイクルで行ったか。	3	0	
	正しい姿勢で胸骨圧迫を行ったか。	3	0	5
	☆AED到着後、傷病者の近くに置き電源を入れたか。 ※未就学児(未就学児用パッド若しくは未就学児用モードを選択)	5	0	5
AED到着から解析まで	電極パッドを貼る前に胸部を確認したか。(胸部の濡れ、貼付薬剤、ペースメーカー)	2	0	3
	☆電極パッドを適切な位置に貼ったか。	5	0	5
	解析時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて！」と声を出したか。	3	0	3
	☆除細動時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて！」と声を出したか。	4	0	4
「除細動が必要です」のメッセージ	☆誰も傷病者に触れていないことを確認して、「除細動実施」と声を出して除細動ボタンを押したか。	4	0	4
	☆電気ショックが終わったら、すぐに胸骨圧迫を再開したか。	5	0	5
	☆除細動時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて！」と声を出したか。	4	0	4
「除細動は不要です」のメッセージ	すぐに胸骨圧迫を再開したか。	4	0	4
胸骨圧迫の交代	救急隊が到着するまで、心肺蘇生を続けたか。	3	0	3
	2人以上いる場合、1~2分を目安に胸骨圧迫の役割を交代したか。	3	0	3
総合判断	適度な声量で呼称がされていたか。	2	0	2
	胸骨圧迫比率が60%以上になるように心肺蘇生を行ったか。 【人工呼吸を実施せずとも、絶え間ない胸骨圧迫を行ったか】	5	0	5
	人工呼吸の実施回数の一定数以上が適当であったか。 (Iは70%以上、II・上級は80%以上)	2	0	
	胸骨圧迫の圧迫回数の一定数以上が適当であったか。 (Iは70%以上、II・上級は80%以上)	5	0	7
合計				

☆は特に重要

評価者